

No.71

2025 年
5 月 1 日その人らしくを大切に
社会福祉士
すこやか福祉会


住みなれたまちで




2025年度 入社式 東都保健医療福祉協議会

祝 新卒入職 介護職員

冷たい雨が降り、季節外れの寒さとなった 4 月 1 日(火)、足立区勤労福祉会館にて、2025 年度東都保険医療福祉協議会の入社式が執り行われました。介護職・医師・看護・セラピストなど 49 名が社会人としての第一歩を踏み出しました。

新卒介護職員は協議会で 4 名、そのうちすこやか福祉会へ 3 名入職しました。

式では幹部や先輩職員からの歓迎の言葉やエールが贈られ、新入職員の皆さんも少し緊張しながらも真剣な面持ちで耳を傾けていました。

式の後には、入職時研修を行い、終わりに青年協議会交流企画では恒例の新聞タワー作りで盛り上がりました。

入社式の様子



初々しくも頼もしい姿に、これからの現場を担っていく新しい力の誕生を感じ、職員一同胸が高鳴りました！

皆様には、温かく見守っていただきながら、どうかご指導・ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

祝 新卒入職 保育士



今年度、保育事業部では 1 名の新卒保育士が入職しました。毎年新人が入職して、活気ある事業部です。新入の園児・児童も迎え賑やかな保育事業部をよろしくお願いいたします。

新卒保育士 H さん

保育士という夢を与えてくれた出身園で、次は自分が夢を配ります！届けます！

社会福祉法人すこやか福祉会 2025 年度事業活動計画

地域と共に誰もが主人公になれる「まちづくり」を目指し-共に学び支え合う

★介護職員を確保し人口減少と高齢化のなかで地域・利用者の生活をどう支えるかという課題

日本の総人口は減少傾向が続き、2070 年には現在の 7 割に減少し、2040 年には 85 歳以上の人口が現在の 2 倍以上となり、人口減少で働き手が不足する一方で医療介護の需要増にどう対応するかが課題となります。魅力ある職場づくりの為に理念に沿った人材確保と育成を中長期スパンで進め、職員が安心して職務に従事できる環境づくりと自発的に学べる環境を整えることが必要となります。



又、医療と介護は、それぞれを支える保険制度が異なることなどから、多職種間の相互の理解や情報共有などが十分でないなど、必ずしも円滑に連携が図られていないという課題があります。

この課題を克服するためにも双方の医療介護活動を深く理解をし、協力し合う事でお互いの経営を支え合う事が必要不可欠となります。その上で医療と介護の両方を必要とする状態の高齢者が、住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、地域における医療・介護の関係機関が連携し、包括的かつ継続的な在宅医療・介護を提供することが重要となります。



★保育事業での社会情勢・制度にどのように立ち向かうか

一方で少子化は止まらず総務省の公表によると 2024 年 4 月 1 日時点での日本の総人口に占める子どもの割合は 11.3%と 50 年連続低下をしています。2025 年日本の少子化はますます深刻化をし、保育業界は大きな転換期を迎えます。まずは子どもや保護者から選ばれる保育園を目指すことが求められ、利便性だけではなく独自の取り組みや特色を兼ね備え、ブランド力を持つことが必要不可欠です。

保育の質を上げ子供が豊かに過ごせる環境を実現する事で保育園の魅力にもつながりますし、更に保育士の士気が高くなることで、仕事のパフォーマンスが向上し保育の環境が改善される事にも繋がります。保育基準の改善に向けた活動も大切で、地域の人たちも巻き込んで運動を広げていきます。

★すこやか福祉会は 2025 年度事業活動計画として以下の課題に取り組みます。

- ① 経営分析をベースにした全職員参加の経営を
- ② 第2次5ヶ年計画を総括する中で課題を洗い出し第3次5ヶ年計画の策定を進める
- ③ 法人の健全な運営ために更なる発展を、幹部配置と事業活動を担う人材確保と育成を成功させる
- ④ 民医連の社会福祉法人として求められる役割実践と事業整備

【事務局長 宮下 尚人】



合同法要と偲ぶ会

特別養護老人ホーム葛飾やすらぎの郷



3 月 8 日(土)に 2023 年 4 月から 2025 年 1 月までに、葛飾やすらぎの郷でお看取りをしたご入居者様の「合同法要と偲ぶ会」を開催し、入居者様 21 名、お看取りをさせて頂いたご入居者のご家族様、5 家族 9 名の方が参加されました。

「合同法要と偲ぶ会」は葛飾やすらぎの郷での看取り介護を振り返り、実際にお看取りを体験されたご家族様からご意見を伺うことで、来年度の具体的な取り組みを検討し、よりよい看取り介護の実践を目指すことを目的としています。

この会の趣旨に協賛していただいた㈱ライフセレクトラストの協力もあり、立派な祭壇も用意されました。

今回お経をあげていただいた、真宗大谷派聞明寺(もんみょうじ)の梅溪住職の叔母様も、かつてやすらぎの郷でお看取りをしたご縁があり、この企画について相談したところ快く引き受けて下さいました。

昔の仲間を偲び合掌する方、故人との思い出に涙が止まらない方、いつも賑やかなご入居者様も肅々とした雰囲気の中、最後まで静かに参加されていました。

【長谷川 浩司】



ひな巡りと菜の花

小規模多機能サービスひまわりの家



2 月下旬から 3 月上旬にかけて、流山市では恒例の「ひな巡り」が開催されました。生涯学習センター(流山エルズ)や流山本町の各商店では、色とりどりのつるし雛が展示され、ご利用者様とひな巡りをしました。

つるし雛は、江戸時代末期に山形県や静岡県、福岡県で始まったとされる風習で、子どもの健やかな成長を願って一針一針心を込めて作られた飾りです。

みなさん「すごいわね!」「きれいだね」と目をキラキラと感動されていました。

3 月末には、江戸川土手が一面の菜の花で黄色く染まりました。ご利用者様と一緒に、暖かい日を選んで何度か散歩に出かけました。土手に上がる階段も頑張って登り、満開の菜の花を眺めながらと感動の声が上がりました。皆さんの晴れやかな笑顔が印象的で、春の訪れを感じるひとときとなりました。

地域の季節行事に触れることで、ご利用者様の生活に彩りを添えることができました。今後も、こうした活動を通じて、地域とのつながりを大切にしていきたいと思えます。

【荒川 真理子】



保育だより

「開園 13 年目を迎えます」 ハチかえで保育園



0 歳児から 5 歳児まで、毎日遊ぶ園庭は、年長児の卒園制作により、少しずつ変化しています。昨年度は、保護者の方々にも参加していただき、テーブルとベンチが出来上がりました。職員と子どもたちだけではなく、保護者の方も一緒に作り上げたという、良い経験ができ、今年度も続けていきたいと思ひます。



かえで保育園の特色でもある園庭は、季節を感じることができ、自然に触れ、五感を刺激する要素がたくさんあります。

なかでも、砂・水・泥遊びは子どもたちにとって日常的な遊びで、毎日楽しんでます。

今年度より、園長に就任するにあたり、年度末に参加させていただいた、全施設役職者会議で、「理念は、迷った時の道しるべ」というお話がありました。その言葉がとても印象に残っています。

誰もが理念を語れ、お互いを尊重し合える職場づくりを目標とし、職員一人一人の力を借りながら、頑張っていきたいと思ひます。

【島本 由美恵】



寄付のお礼

常日頃から当法人の社会福祉事業にご協力・ご支援いただき、感謝申し上げます。この間、貴重なご寄付を多くの方々からいただきました。

心からお礼申し上げます。

すこやか福祉会 2024 年度寄付金収入総額

921,862 円

施設の充実に役立つよう、大切に活用させていただきます。高齢になっても、障がいがあっても、安心して住みなれた地域に住み続けることが可能になるよう、また「いつでもどこでも誰でも安心してサービスが受けられること」ができる介護保障の実現のために、役職員一同、これからも奮闘していく所存です。

どうぞ今後とも、今までと変わらないご支援・ご協力を重ねてお願い申し上げ、お礼にかえさせていただきます。

バザー用品募集



募集



2025年

すこやか祭り

開催

5月25日(日)

10:30~14:00

葛飾やすらぎの郷



家庭でご使用にならない食器・日用品・雑貨などがございましたら、ご協力をよろしく申し上げます。
衣類・寝具・食器は未使用の物に限らせていただきます。
※物品は取りに何うことが難しいため下記までご持参ください。
量が多くて持ってこれない場合などは、ご相談ください。

皆さま是非お越しください！バザー用品も募集中です！

【お問い合わせ・連絡先】

特別養護老人葛飾やすらぎの郷

東京都葛飾区新宿 3-4-10 TEL 03-5648-8250